

最近の経済情勢について

産業労働部産業政策課

I 世界

月例経済報告〔平成 29 年 10 月（H29.10.25 内閣府）〕

- 世界の景気は、緩やかに回復している。
- 先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、中国を始めアジア新興国等の経済の先行き、政策に関する不確実性による影響、金融資本市場の変動の影響等について留意する必要がある。

【米 国】 ～ 実質 GDP 2017 年 4-6 月期 前期比年率+3.1% ～

- ・ 景気は着実に回復が続いている。
- ・ 先行きについては、着実に回復が続くと見込まれる。
- ・ ただし、今後の政策の動向及び影響等に留意する必要がある。

【欧 州】 ～ 実質 GDP 2017 年 4-6 月期 前期比年率+2.6% ～

- ・ ユーロ圏では、景気は緩やかに回復している。
- ・ 先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。
- ・ ただし、地政学的リスクの影響、政策に関する不確実性の影響等に留意する必要がある。

【アジア】

（中 国） ～ 実質 GDP 2017 年 7-9 月期 前年同期比+6.8% ～

- ・ 中国では、各種政策効果もあり、景気は持ち直しの動きが続いている。
- ・ 先行きについては、各種政策効果もあり、当面は持ち直しの動きが続くものと見込まれる。
- ・ ただし、不動産価格や過剰債務問題を含む金融市場の動向等によっては、景気が下振れするリスクがある。

（韓 国） ～ 実質 GDP 2017 年 4-6 月期 前期比年率+2.4% ～

- ・ 景気は持ち直しの動きがみられる。

（台 湾） ～ 実質 GDP 2017 年 4-6 月期 前期比年率+0.5% ～

- ・ 景気は持ち直しの動きがみられる。

（インド） ～ 実質 GDP 2017 年 4-6 月期 前年同期比+5.7% ～

- ・ 景気は内需を中心に緩やかに回復している。

（インドネシア） ～ 実質 GDP 2017 年 4-6 月期 前年同期比+5.0% ～

- ・ 景気は持ち直しの動きがみられる。

（タ イ） ～ 実質 GDP 2017 年 4-6 月期 前年同期比+3.7% ～

- ・ 景気は持ち直しの動きがみられる。

Ⅱ 日本 ～ 実質 GDP 2017 年 7-9 月期（1 次速報値） 前期比年率+1.4% ～

1 月例経済報告〔平成 29 年 10 月（H29.10.25 内閣府）〕

「景気は、緩やかな回復基調が続いている。」

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・ 設備投資は、持ち直している。
- ・ 輸出は、持ち直している。
- ・ 生産は、持ち直している。
- ・ 企業収益は、改善している。企業の業況判断は、改善している。
- ・ 雇用情勢は、改善している。
- ・ 消費者物価は、横ばいとなっている。

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。

2 四半期別実質 GDP 成長率（H29.11.15 内閣府）

（単位：％）

	H28.7-9 月期	10-12 月期	H29.1-3 月期	4-6 月期	7-9 月期 ※1 次速報値
季節調整済前期比	0.2	0.4	0.3	0.6	0.3
年率換算	0.9	1.6	1.0	2.6	1.4

Ⅲ 長野県

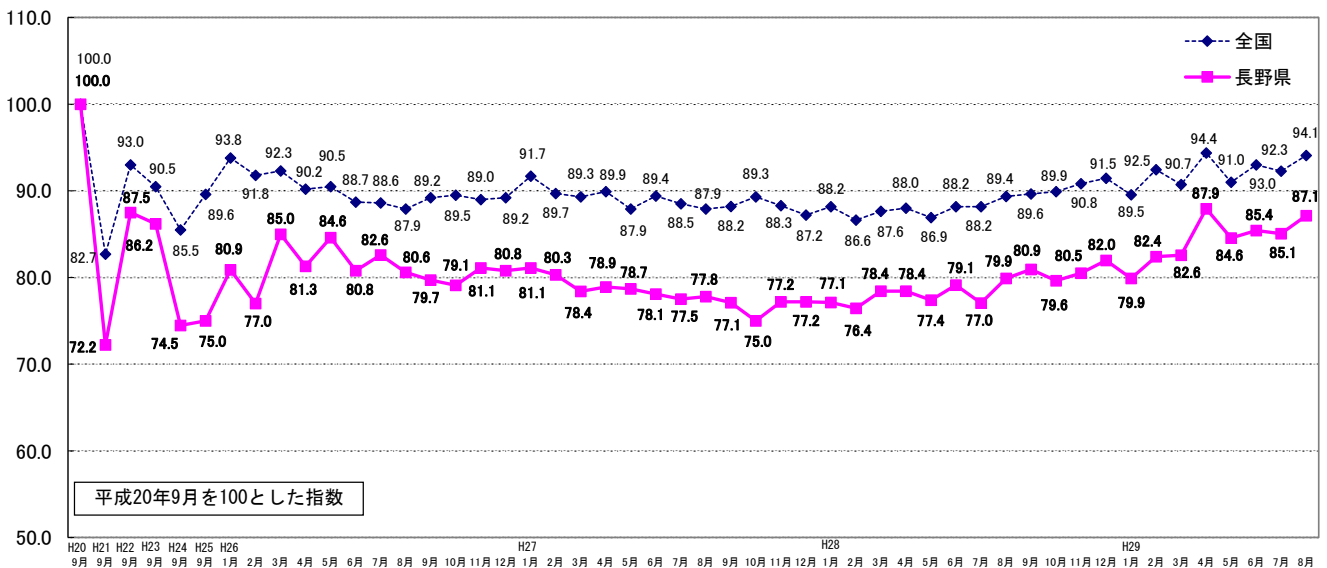
1 長野県の金融経済動向（H29.11.7 日本銀行松本支店）

長野県経済は、緩やかに拡大している。

最終需要の動向をみると、公共投資および住宅投資は横ばい圏内の動きとなっている。設備投資は緩やかに増加している。個人消費は底堅く推移している。

この間、生産は増加している。雇用・所得は、着実な改善が続いている。

2 鉱工業生産指数（季節調整済指数）の推移



※上記指数は、長野県鉱工業生産指数（長野県企画振興部）、鉱工業生産指数（経済産業省）を基に産業政策課で算出したものである。